

					(別紙3)
	公表 事業所における自己評価総括表				
○事業所名		ポノポノランド			
○保護者評価実施期間		2025年 6月 10日		～	2025年 7月 1日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	3	(回答者数)	3
○従業員評価実施期間		2025年 6月 10日		～	2025年 7月 1日
○従業員評価有効回答数		(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		2025年 7月 20日			
○分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	年単位で計画的に毎月5領域に沿ったテーマを特化して活動内容に入れて決めている。		全体の課題から話し合い計画的に支援できる会議を設けている		どんな意見でもすくいあげるようにしている。保護者参加型イベント開催をする
2	翌日には前日に気になった事を話し合いその日の対応を決めている。（一人一人の対応をPDCAサイクルをまわす）		話しやすい環境をつくり、ミーティング以外でも話し合いができる環境を設けている。		他事業所などの交流を図るようにする
3	18歳になった時に自律している姿を意識して支援している。		子どもたちの話し合いを大切に設けるようにしている。		子どもたちの意見も取り入れるようにしている。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流がない。		家族参加型のイベントを開催が少なく、魅力ある企画が立てれていない		魅力ある家族参加型イベントを開催する。
2	話し合いで決まったことが定着しない		定着する前に他の案がいろいろ出てくる		なぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。
3	マニュアル（BCP等）の周知		職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周知します。玄関、ホームページで周知する。		保護者へ概要や、内容が伝わるように工夫し、連携がとれるようにしていくことが必要である、

									(別紙4)
		公表保護者等からの事業所評価の集計結果							
事業所名	ポノポノランド					公表日	年 月 日		
						利用児童数	2025年 7月 1日	回収数	3
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	3						
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2			1		送迎する職員が固定されやすいので、職員の顔が見えるように組んでいき交流を持てるようにします。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	2	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	3						
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3						
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	3						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	3						
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	2	1					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	3						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3						
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1			2		計画はしていますが実行できていません。安全面を考慮しながら実行に移せるように努めます。	
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	3						
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	3						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	1				事業所への見学は積極的に声をかけていく	
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	3						
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	1					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	3						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1			2		年末に1回交流会を設けています。年2回を計画しています。	
19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	2	1						

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている と思いますか。	2	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体 制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発 信されていますか。	3					
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	3					
非常 時等 の対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニ ュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されて いますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1	2			災害時の避難先についてなどの説明は 受けているが、マニュアルまであるかは わからないため。	口頭説明だけでなく、マニュアルも見せな がら行います。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な 訓練が行われていますか。	1	1		1		夏休みに計画しています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される 等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思います か。	2	1				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や 事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	1				
満足 度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	2			1		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	2	1				
	29	事業所の支援に満足していますか。	2	1				

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6		状況に応じて対応している。	変化が激しいときに支援計画が遅れないようにする工夫が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝のミーティングで確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後でできない時は、朝に振り返りの時間をも設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録のダブルチェックをするようにしている。	記録を振り返れるシステムの使い方の共有
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必要に応じて判断して実施している	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		その都度の会議で必要な情報を持っている職員が対応するように声掛けしている	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		即自対応するようにしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2	会議以外でも、送迎の際に情報交換を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	必要に応じて実施している	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後の検討課題
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎の際に情報共有を行っています。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		6		今後の検討課題
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		見学时や契約時に行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング等で意向を確認して反映しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		6	必要に応じて実施しています。	定期的なものには今後の検討課題
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	3	忘年会など家族、きょうだいが参加できるイベントを開催しています。	年2回できるようにします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		対応する体制がある事をその都度お知らせしています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	3	SNSでの発信や個別に送っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		周知するように全体共有しています	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		今後の検討課題
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルがいつでも見れるように配置し、定期的に訓練を実施している。	保護者への周知
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画的に進めています。	今後、児童の特性に合わせカスタマイズしていく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理について、日々の活動の中で共有しながら実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		必要に応じて家族に確認し周知している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットがあった際は、ミーティングを実施し再発防止に努め、共有しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内研修とe-ラーニングで実施しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6		計画書に記載して説明しています。	

					(別紙3)
	公表 事業所における自己評価総括表				
○事業所名		ポノポノランド			
○保護者評価実施期間		2025年 6月 10日		～	2025年 7月 1日
○保護者評価有効回答数		(対象者数)	8	(回答者数)	8
○従業員評価実施期間		2025年 6月 10日		～	2025年 7月 1日
○従業員評価有効回答数		(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日		2025年 7月 20日			
○分析結果					
	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること		工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	年単位で計画的に毎月5領域に沿ったテーマを特化して活動内容に入れて決めている。		全体の課題から話し合い計画的に支援できる会議を設けている		どんな意見でもすくいあげるようにしている。保護者参加型イベント開催をする
2	翌日には前日に気になった事を話し合いその日の対応を決めている。（一人一人の対応をPDCAサイクルをまわす）		話しやすい環境をつくり、ミーティング以外でも話し合いができる環境を設けている。		他事業所などの交流を図るようにする
3	18歳になった時に自律している姿を意識して支援している。		子どもたちの話し合いを大切に設けるようにしている。		子どもたちの意見も取り入れるようにしている。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること		事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者間の交流がない。		家族参加型のイベントを開催が少なく、魅力ある企画が立てれていない		魅力ある家族参加型イベントを開催する。
2	話し合いで決まったことが定着しない		定着する前に他の案がいろいろ出てくる		なぜ定着しないのか、どうしたらいいのかを考え決めたことは定着できるようにしていく。
3	マニュアル（BCP等）の周知		職員研修でとどまってるケースがあるので、防災イベントなどを活用して周知します。玄関、ホームページで周知する。		保護者へ概要や、内容が伝わるように工夫し、連携がとれるようにしていくことが必要である、

									(別紙4)
		公表 保護者等からの事業所評価の集計結果							
事業所名	ポノポノランド					公表日	年月日		
						利用児童数	年月日	回収数	8
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応	
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7	1			スペースが狭く感じる	整理整頓を心がけます。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	7	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	7	1					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1					
適切な支 援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	5	2					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	8						
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6	2					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	2		1	利用日数が少ないのでまだわかりません		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8						
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8						
保護 者へ の説明等	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	2	2	1	2			
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8						
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	6	1		1			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	1					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	4					
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	7						
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	2	2	2			
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8				相談したい旨を伝えるとすぐに場を設けてくださるので助かります。	この体制を維持できるように努めています。	

	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	7	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	5	2		1	ネットを見ていないので情報が発信されているかわからない。	紙媒体の情報発信も検討していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6			2	入所の際に説明してもらっている。	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	2		3		
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	1		1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7			1		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	6	2				
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	8					
	29	事業所の支援に満足していますか。	8					

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		月の課題から活動内容を決めている	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		状況に応じて対応している。	変化が激しいときに支援計画が遅れないようにする工夫が必要である。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	朝のミーティングで確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	支援終了後でできない時は、朝に振り返りの時間をも設けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		記録のダブルチェックをするようにしている。	記録を振り返れるシステムの使い方の共有
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		必要に応じて判断して実施している	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		「4つの基本活動」を複数組み合わせてプログラムを作成しています。	①日常生活の充実と自立支援のための活動②多様な遊びや体験活動③地域交流の活動④こどもが主体的に参画できる活動の活動を全職員が理解できるようにする。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		日々の活動で自己決定支援を意識して行っています。	職員が自己決定に手を出しすぎないように注意する。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		その都度の会議で必要な情報を持っている職員が対応するように声掛けしている	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		即自対応するようにしている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		即自対応するようにしている。日々の送迎での情報共有を意識しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	1	適時対応しています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		必要に応じて対応	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	必要に応じて個別相談しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		6		今後の検討課題である。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		6		今後の検討課題である。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		送迎時やSNSを利用して常に情報共有できる体制をとっています。	今後も情報共有しやすい環境をつくっていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	3	家族も参加できるイベント開催したり、個別相談を必要に開催しています。	いつでも個別相談や事業所見学ができる事を情報提供していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に説明している。	質問には随時対応しています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		モニタリング等で意向を確認して反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		必要に応じて個別相談しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	3	家族も参加できるイベント開催したりしています。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		体制整えています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		周知するように全体共有しています	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		今後の検討課題
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		各種マニュアルがいつでも見れるように配置し、定期的に訓練を実施している。	保護者への周知
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		計画的に進めています。	今後、児童の特性に合わせカスタマイズしていく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に確認している。必要に応じて確認できる一覧表を作成している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全管理について、日々の活動の中で共有しながら実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6		必要に応じて家族に確認し周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	1	ヒヤリハットがあった際は、ミーティングを実施し再発防止に努め、共有しています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		事業所内研修とe-ラーニングで実施しています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		計画書に記載して説明しています。	